学位被授与者氏名	陳　雯婷（ちん　ぶんてい）
論文題目	陶淵明の詩における孤独感 ―飲酒の詩を通じて―
論文審査結果の要旨	論の展開や分析、考察が粗いところがあるものの、陶淵明の飲酒詩に注目してそこに表現されている孤独感について取り上げ、さらに他の詩人との比較や後世への影響にまで言及した点は評価できる。また飲酒詩を定義づけしてから考察を進めた点も評価できる。 その一方で、以下の点を注意点として指摘することができる。(1)飲酒に注目しているにもかかわらず、第 3 章で阮籍と比較した際、相違点に飲酒とは関係のないことをあげていたり、第 5 章で後世の詩人への影響を述べるのにも、李白と蘇軾については飲酒についての考察がなされているのに対して、白居易については飲酒ではなく大きく受容という点で考察をしてしまっている。(2)全体として取り上げる詩が少なく、またすぐに飲酒詩と孤独感とを結びつけて論じてしまっているが、まず飲酒詩でどのような心情が述べられていて、その中で孤独感がいかに注目に値するかを述べてから考察をしたほうが良かったと思う。(3)孤独感は、「孤」「独」という語が使われている詩句を手がかりにして考察をしているが、「孤」「独」がすぐに孤独感に結びつくのかどうかは慎重に考えたほうが良かった。孤高という意味で使っている例もあり、それは孤独感とは分けて論じるべきであったのではないか。(4)「孤」「独」という語を使わなくても孤独感が表現されている詩がある可能性があるが、今回はその点については言及がなかった。 2025 年 2 月 21 日（金）に、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 3-329 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。